

手話通訳者・要約筆記者 合同現任研修

11月19日（土）石川県地場産業振興センターにおいて、合同での現任研修2コマを実施しました。

けいわん予防学習（参加：手話通訳者27名／要約筆記者6名／盲ろう通訳・介助員4名）

午前に、愛媛県手話通訳問題研究会会長の森川美恵子氏とZoom接続し、「健康で通訳活動するために」と題してご講演いただきました。今年度は盲ろう通訳・介助員にも参加を呼びかけました。そのため情報保障として手話通訳者を手配しました。

通訳者は業務において身体的、精神的な負担が生じることを自覚すること、そして負担が原因で心身に様々な症状が出ることを学びました。頸肩腕障害を予防するために、定期的に受診すること、相談すること、くり返し学ぶことが大切であり、これらを常に心がけていくことが重要です。



その後、座ってできるヨガを体験しました。手軽に行うことができるので通訳現場や日常生活でも実践して心身を健康に保つことを意識しましょう。

警察に関する通訳（参加：手話通訳者36名／要約筆記者12名）

午後の研修では、石川県警本部より刑事企画課通訳運用係長の中谷氏と警務課企画係の木下氏・川畑氏にお越しいただきました。前半に中谷氏からは「警察通訳をする際の心構え」としてお話しいただき、手続きの流れや用語、注意すべきことなどを学びました。

後半には、警察署できこえない・きこえにくい人へ通訳することを想定した事例検討をグループワークで行いました。想定したことが無いという方も多い中、どのように対応すればよいか話し合い、県警の方のアドバイスをいただきました。

警察に関する研修は初めての企画でしたが、依頼が入った時に重要な役割を安心して担えるよう、学習を重ねていきたいと思えます。



ビデオライブラリー

令和4年度 前期分が入荷しました。(12作品/DVD)
皆様のご利用をお待ちしております。



令和4年度 石川県登録要約筆記者試験(統一試験)のご案内

- 日時：令和5年2月19日(日) 午後1時から午後3時半
- 会場：石川県社会福祉会館(石川県金沢市本多町3-1-10)
- 申込方法：期日までに所定の受験申込書に必要書類と受験料を添えてご持参ください。詳細は試験実施要項をご参照ください。試験実施要項・受験申込書は、<https://www.deaf-ishikawa.or.jp/>よりダウンロードしてください。
- 受験資格：下記のいずれかに該当する者
- ①要約筆記者養成講座(後期)修了者
 - ②補習講習を受けた現任要約筆記者奉仕員および同等の知識と技術を有する者
- 試験内容：要約筆記者養成カリキュラムの必修科目の範囲での筆記試験、及び実技試験
- 受験料：手書き6,000円、パソコン6,500円、両方を受験8,500円
- 申込期間：令和4年12月1日(木)～12月16日(金)17:30(郵送不可)
- 問い合わせ：社会福祉法人石川県聴覚障害者協会
石川県要約筆記者登録試験運営委員会事務局 担当：岩垣
〒920-0964 石川県金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館内
FAX：076-261-3021 TEL：076-264-8615

2023年度 石川県手話通訳者養成講座 受講試験のご案内

- 日時 2023年2月4日(土)9:50～(受付9:30～)
- 会場 石川県社会福祉会館
- 受験資格 次のAまたはBに該当し、ア、イ、ウの条件を満たす者
- A、手話奉仕員養成講座基礎課程を修了見込みの者
 - B、全国手話検定試験2級以上合格者
- ア、2023年4月1日の時点で18歳以上の者
- イ、将来登録手話通訳者として活動する意思のある者
- ウ、地域の情報コミュニケーション部長の推薦を受けた者
- 試験内容 ■ 手話スピーチ
■ 手話による面接 *詳細は受講案内にてご確認ください*
- 申込方法 ①②を、期日までに下記宛てに持参、または郵送のこと
- ①申込書…必要事項を記入し、各郡市ろうあ協会の推薦を受けたもの
 - ②返信用封筒〔長形3号封筒(120mm×235mm)〕に住所と氏名を明記し、94円切手を貼付してください。
- 申込締切 2023年1月10日(火)当日消印有効
- 申込・問合せ 石川県聴覚障害者協会 担当：藤平・彦谷
〒920-0964 金沢市本多町3-1-10 石川県社会福祉会館内
TEL (076) 264-8615 FAX (076) 261-3021



令和4年度 手話通訳者養成講座 通Ⅲ課程 閉講式

10月9日（日）石川県女性センターにて手話通訳者養成講座通Ⅲ課程の閉講式を実施し、無事9名の受講生が修了されました。達磨理事長から修了生一人ひとりへ受講証が手渡された後、講師の山科さん、倉本さんより養成講座全体を通じての総評とエールが送られました。

突然、新型コロナウイルスによって社会が激変した2020年春から早3年。

この3年間は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令による講座延期や中止を余儀なくされた激動の時期でした。そんな中、手話通訳者という目標に向かって励まし合い、学び続けた受講生達には、どんな苦境でも諦めない強い心と、仲間の絆が育ったと感じます。



11月10日（木）には、通Ⅲ課程の修了生、受講生を対象に6月から開催していた【手話通訳者全国統一試験対策講座】も無事に終了しました。

受講生たちは、来月12月4日（土）に実施予定の石川県手話通訳者試験に挑みます。

ぜひこれまでの学びや努力が、実を結ぶことを講師陣一同、祈っています。

令和4年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会 閉講式

10月29日（土）、石川県社会福祉会館 大ホールにて令和4年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会の閉講式を行いました。今年度は昨年度の補講の方も含めて9名が無事修了となりました。今後は盲ろう通訳・介助員として登録し、盲ろう者の情報保障や移動時の介助を担っていただくことになります。コロナウイルス感染症拡大も少しずつ落ち着きを見せていますが、油断せず、毎回の感染対策をしっかりと行ったうえで進めていきました。

来年度は羽咋地区で開催予定です。きこえる・きこえない 問わず盲ろう者向け通訳・介助員に興味のある方は、盲ろう者の社会参加のためにもぜひ受講いただきたいと思います。たくさんのお申し込みをお待ちしております。





地域活動支援センターあさがおハウス

あさがおハウスだより

8月から10月ごろの活動の様子です。

8月26日(金)、藍染め教室で染料を水洗いしている様子です。輪ゴムなどを使い模様をつけ、染料に浸して染めます。出来上がりは、最後までわかりません。世界に一つだけの逸品に驚きとうれしさで歓声が上がっていました。



9月14日(水)、県立松任高校の3年生(介護福祉基礎選択科生)が授業の一環として来訪しました。学生が質問を紙に書くことから始まり、利用者に手話を習う方法です。後日、利用者一人一人へのメッセージが届きました。皆さんとても喜ばれていました。



9月18日(日)、白山市ふれあいスポーツ大会(ポッチャ)に4チームが出場しました。初めての対外試合でしたが、日頃の練習の成果を発揮して素晴らしい結果でした。



9月25日(日)、白山市福祉健康まつりがありました。手作り品やホワイトボードを販売しました。松任高校のJRC部(ボランティア部)の協力を得て活気がありました。



10月6日(木)、門脇さんの体操教室があり、「ラダー」という道具を使いました。頭と身体はフル回転で、ぽかぽかになりました。



10月13日(木)、創立1周年記念行事を行いました。所長からの感謝の挨拶や利用者からの感想、そして藤田議員や福祉課課長、関係者をお招きして和やかな会となりました。



-その他の行事-

- 9月 8日(木) 野菜作りの講習会
- 9月 29日(木) フェザーベース
- 9月 30日(金) 創作教室「ちぎり絵」
- 10月 17日(月) 誤嚥性肺炎予防講座
- 10月 28日(金) 創作教室「スタンドグラス」
- 11月 2日(水) 菊花展フェスティバル見学